西尾勝典さん渡伯**40**年＝記念絵画展、スザノで７日

西尾さん（右）と妻のマルシアさん

刊行物『日系文学』で表紙絵を担当する画家の西尾勝典さんが、渡伯から４０年が経過した記念に絵画展を開催する。

会場はサンパウロ州スザノのフランシスコ・カルロス・モリコーニ教育文化センター（Rua Benjamin Constant, 682, Centro）で、７日午後7時半からオープニング、開催は5月７日まで（各日午前8時～午後5時）。

１９４４年、福岡県生まれ。７２年に技術移民で渡伯し、デザイナーとしてカネボウやエリザベス繊維に勤務。８９年に初めて展示会に出展し、画家として本格的に活動を始めた。

西尾さんによる３０～４０点の現代アートほか、金子謙一さんら１６人の友人らも一人１点ずつ出展する。

西尾さんと妻のマルシアさんが来社し、「１カ月の期間中、いつでもご来場ください」と呼びかけた。

問い合わせは会場（１１・4747・4180）または、協力者のペドロさん（同・99446・6742）まで。